

一般質問…ここが論点

6月定例会

6月市議会定例会中、10日、11日、12日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

大向正義（未来の会）

蒲郡市医師会の委託費
不正受給について

問 4月8日の第5回及び5月18日の第6回弁論準備手続きの内容は。

答 第6回の弁論準備手続きにおいて、資料の差し替え等はあるものの、管理費や旅費に関する資料も提出されたので、これで、平成15年度分の被告側資料が出揃ったということである。なお、次回弁論準備手続きは8月12日である。

協働のまちづくり
について

問 協働のまちづくり基金で実施する事業を明確な形で明示する必要があるのではないか。

答 細かな使い道を記載するのは適当でないという意見をいただき、その考え方を尊重して条例化をしたが、大向議員提案のNPO法人設立支援に関する事業、協働のまちづくりを担

う人材育成事業などは、もつともな事業だと思う。

大場康議（市政クラブ）

五井線の進捗状況
について

問 蒲郡の道路基盤整備が着々と進む中、市民病院、新消防庁舎に直結する五井線の必要性はだれもが認めているところである。そこで、五井線の現状と、今後の見通しについて伺う。

答 都市計画道路蒲中線から南約130m区間が未供用となっている。地権者との交渉は暗礁に乗り上げており、非常に難しい状



五井線

態だが、任意の買収に向けて交渉していきたいと思っている。また、これに並行して、土地収用を視野に入れた事務処理を進めている。

問 任意交渉が進まない中、収用を柱に進めることが公共のため、また財政的にも得策と思うがどうか。

答 五井線については、早期に事業を完了したいと考えており、こうした状況をなれば土地収用の手法を講じざるを得ないと思っている。収用に伴う事業認定申請を平成22年度に提出できるよう努力する。

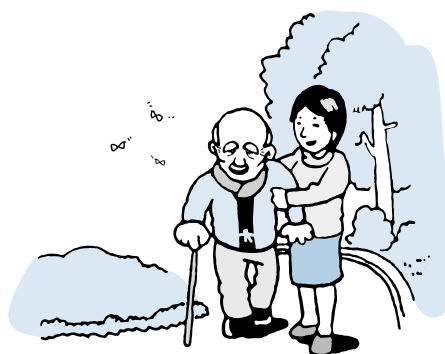
日恵野佳代（日本共産党）

障がい者が人間らしく暮らせる支援について

問 障害者自立支援法の応益負担制度の廃止を市として国に求めるべきではないか。

答 国会会の障害者自立支援法の一部改正案の中で、負担の軽減を図ると提案されているので、国の動きを待ちたい。

問 事業所に対する報酬の引き上げや、支払い方



答 式を月額制に戻す、そして公費の投入によって職員の賃金のアップというのを国に求めるべきではないか。特にそのことについては国にとりうようなことは考えていない。

問 蒲郡駅の鉄道高架下にカフェ等障がい者の出店支援をしてはどうか。

答 出店費用の関係、採算性等もあり難しいが、チャレンジショップ等での試行、訓練を働きかけたい。

その他の質問

1 新型インフルエンザ対策について